

ハイパータナコン 500S

道糸入力方法「指定入力編」

指定入力とは当社棚センサーブライトを巻くとき、データをインプットするだけで道糸入力できる便利な方法です。ただし、下記の場合のみ可能です。

・下巻きをしない場合 ・11ページの表に記載されている号数および巻き糸量の場合

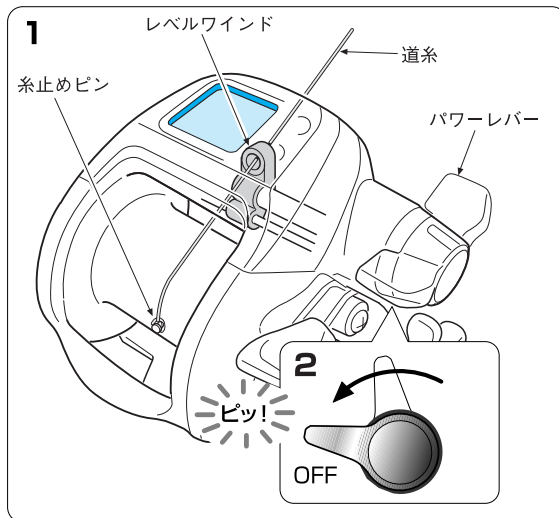
1. 道糸をレベルワインドに通してスプールに結んでください。

※付属の糸通しピン (P.8参照) を使うとかんたんに通せます。

※スプール面での糸滑り防止のため、必ず糸止めピンに糸を結んでください。

2. パワーレバーをOFFまで戻します。

※ドラグをしっかり締め込んでください。



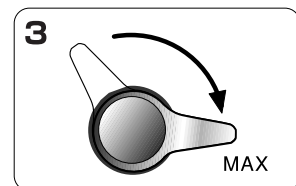
3. リールを通电させ、パワーレバーをMAXの位置まで倒し最後まで道糸を巻いてください。

※接続方法についてはP.2電源とのつなぎ方を参照ください。

※道糸は約1kgのテンションで巻いてください。

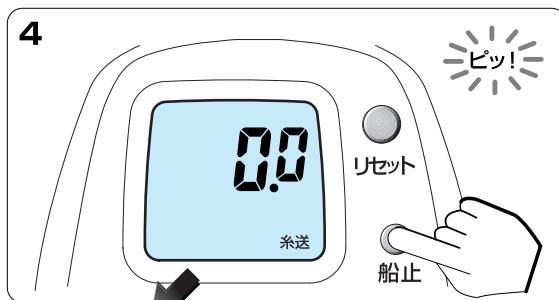
※糸を巻き込まないように注意してください。

※フィンガードに糸があたると、リールが傷つくことがあります。糸があたらぬようご注意ください。



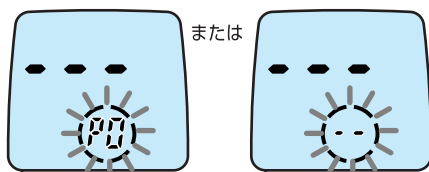
4. 表示が 0.0 のときに 船止 スイッチを10秒間押し続けてください。

※2秒でアラーム音が鳴り、5秒で糸送りの画面になりますが、そのまま押し続けてください。

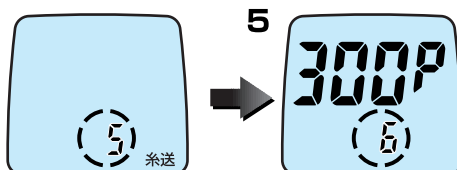


5. 初期設定PE6号-300mの画面になります。

入力方法によっては

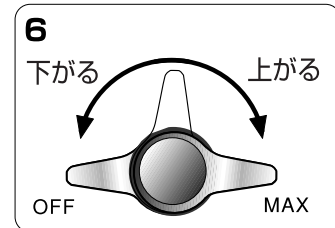


になります。



6. パワーレバーで、数値をセットしてください。

- ・レバーを前に倒すと数値が上がります。
- ・レバーを元に戻すと数値が下がります。



PE (右上の表示がPの場合) (m)			ナイロン (右上の表示がLの場合) (m)		
4号	400	470	5号	300	400
5号	300	350	6号	300	330
6号	200	300	7号	—	300
8号	200	220			



便利

ハイパータナコン500Sには、あらかじめタナセンサーブライツ6号-300mのデータが入力されています。タナセンサーブライツ6号-300m巻く場合は、データのインプットは不要です。



注意

- ・フィンガーガードに糸があたると、リールが傷つくことがあります。糸があたらないようご注意ください。
- ・屋内で低速・高テンションで長時間(※1)かけて糸を巻くと、モーターが異常に過熱し故障の原因になります。パワーレバーをMAXにして入力を行ってください。また、実釣時には海水等で冷却されますのでご心配ございません。

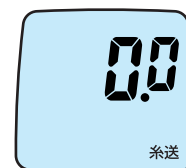
(※1)10分間連続で糸を巻くと、モーター過熱防止機能が働き、モーターが停止し、画面表示が点滅、5分間全ての操作ができなくなります。コマセタイマー部に4→3→2→1→0(分)とカウントダウンし、「ピー」と鳴ったら停止前の状態から入力可能です。

7. パワーレバーで数値がセットできたら

船止 スイッチを押して完了です。

0.0 に戻ります。

7



道糸入力方法「P1：リールに巻く糸の長さがわかる編」

リールに巻く糸の長さがわかっている時に便利な方法です。
当社棚センサーブライト以外の道糸を巻く場合は、この方法で入力してください。

1.道糸をレベルウィンドに通してスプールの に結んでください。

※付属の糸通しピン (P.8参照) を使うとかんたんに通せます。

※スプール面での糸滑り防止のため、必ず糸止めピンに糸を結んでください。

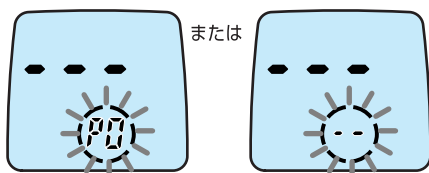
2.パワーレバーをOFFまで戻します。

3.表示が **0.0** のときに **船止** スイッチを10秒間押し続けてください。

※2秒でアラーム音が鳴り、5秒で糸送りの画面になりますが、そのまま押し続けてください。

4.初期画面になります。 (PE6号-300mの画面になります。)

入力方法によっては



になります。

5.もう一度 **船止** スイッチを押します。

(**P1** が点滅します。)

※ドラッグをしっかり締め込んでください。

6.パワーレバーをMAXの位置まで倒して 道糸を巻きます。

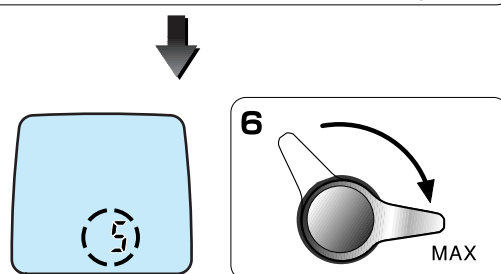
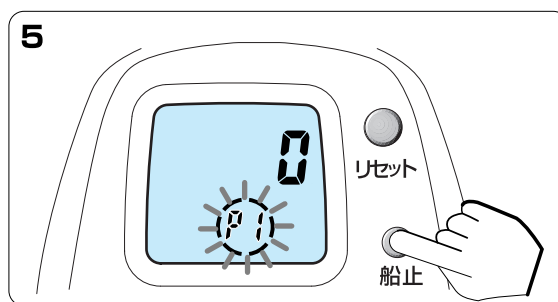
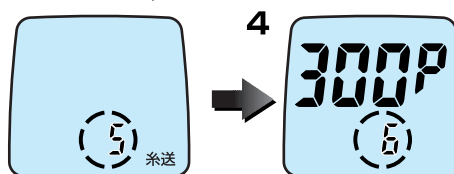
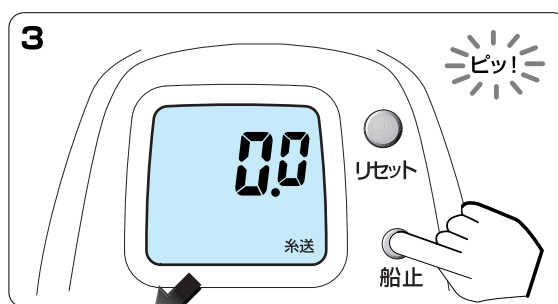
パワーレバーを倒すとP1がテンション表示に変わります。

パネル下の数字が4~5になるようにテンションを調整して巻いてください。

巻き取りを始めると、上のカウンターの数値が増えていきます。

※フィンガードに糸があたると、リールが傷つくことがあります。

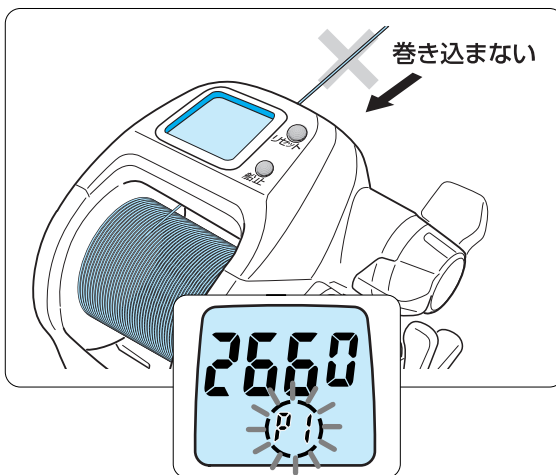
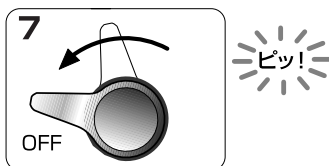
糸があたらないようにご注意ください。



7. 巻き終わったらレバーをOFF位置まで戻します。(アラーム音)

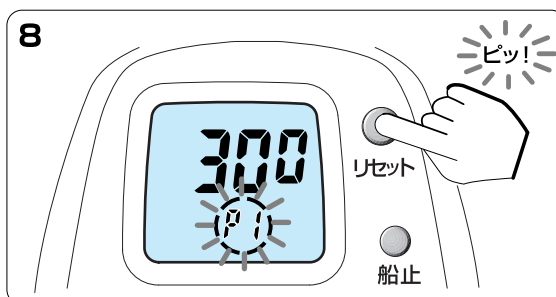


・糸を全部巻き込まないようにしてください。手前でパワーレバーをOFFの位置にし、ハンドルで巻いてください。巻き込みますとカウンター誤差の原因にもなります。



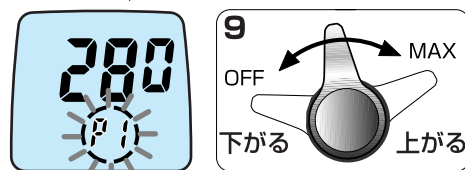
8. **リセット** スイッチを2秒以上、表示が **300** になるまで押してください。

(300は初期値です。)



9. パワーレバーで、道糸の長さをセットします。

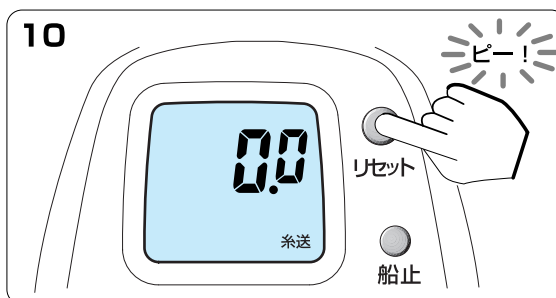
(図は、280m入力した場合です。)



10. **リセット** スイッチを2秒以上押してください。

(アラーム音が鳴り、表示が **0.0** になれば完了です。)

※ **Err** になった場合は、再度入力をしてください。
船止 スイッチを押せば、**0.0** に戻ります。)



道糸入力方法「P2：下巻き入力」

ただし長さのわかる道糸が100m以上必要です。

1. 下巻き糸をレベルワインドに通してスプールの結び、通电させてください。

- ※付属の糸通しピンを使うとかんたんに通せます。
- ※スプール面での糸滑り防止のため、必ず糸止めピンに糸を結んでください。
- ※ドラグをしっかり締め込んでください。

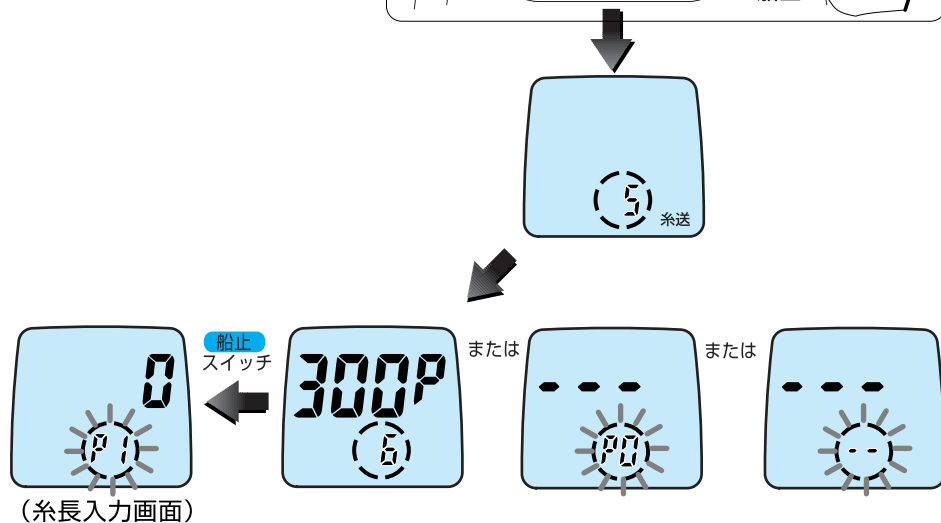
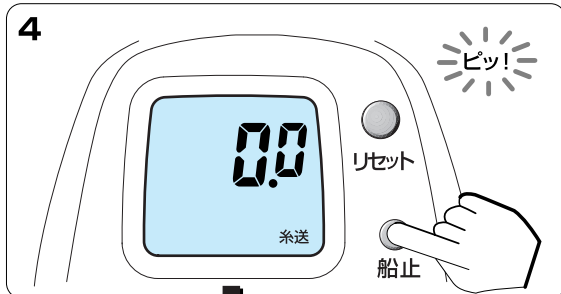
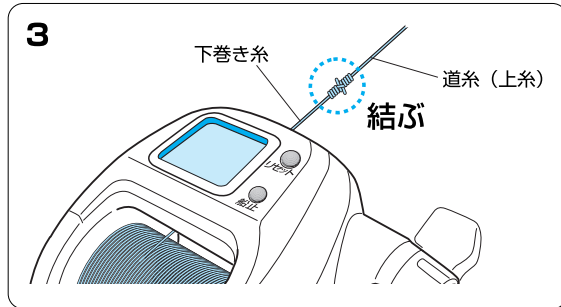
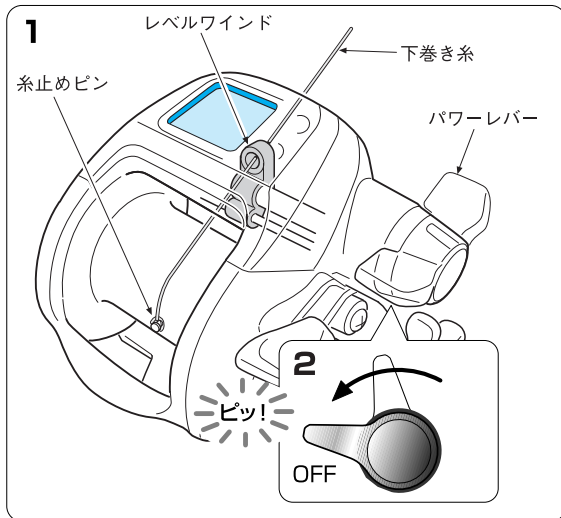
2. 下巻用の糸を巻きます。

- ※パワーレバーがOFFの位置にない場合は、一度OFF位置（手前）に戻してから出力してください。

3. 上糸をしっかり結びます。

4. 表示が 0.0 のときに 船止 スイッチを10秒間押し続けてください。

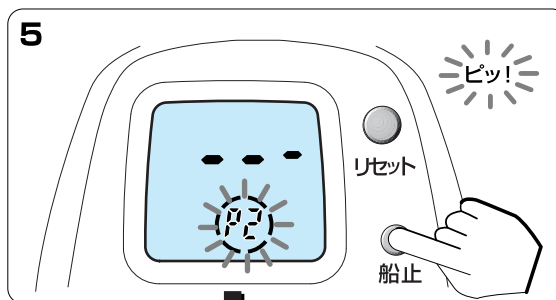
- ※2秒でアラーム音が鳴り、5秒で糸送画面になりますが、そのまま押し続けると道糸設定画面になります。次に 船止 スイッチを押すと P1 が点滅します。



5.糸長入力画面になったらもう一度

船止 スイッチを押して下巻き1入力画面にしてください。

P2 が点滅し、下巻入力画面になります。

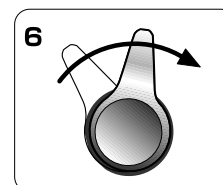
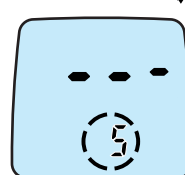


(下巻入力画面)

6.テンションをかけて残り100mになるまで道糸を巻いてください。

パワーレバーを倒すと **P2** がテンション表示に変わり上のカウンターの数値が上がります。

パネル下の数字が4~5になるようにテンションを調整してください。

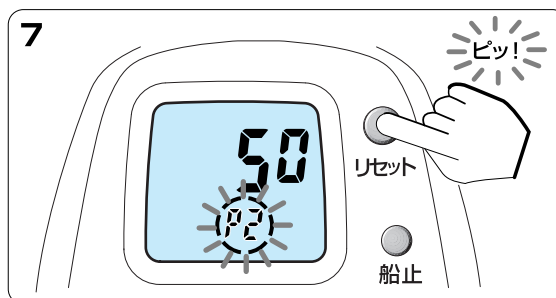


- ・フィンガーガードに糸があたると、リールが傷つくことがあります。糸があたらないようにご注意ください。
- ・屋内で低速・高テンションで長時間(※1)かけて糸を巻くと、モーターが異常に過熱し故障の原因になります。パワーレバーをMAXにして入力を行ってください。また、実釣時には海水等で冷却されますのでご心配ございません。

(※1)10分間連続で糸を巻くと、モーター過熱防止機能が働き、モーターが停止し、画面表示が点滅、5分間全ての操作ができなくなります。コマセタイマー部に4→3→2→1→0(分)とカウントダウンし、「ピー」と鳴ったら停止前の状態から入力可能です。

7. **リセット** スイッチを2秒以上押してください。

P2 が点滅し、上のカウンターが **50** になります。



8.テンションをかけて糸色に注意しながら50m道糸を巻いてください。

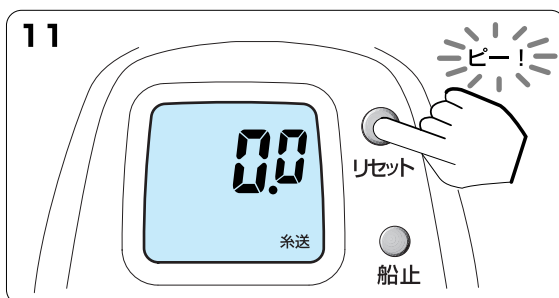
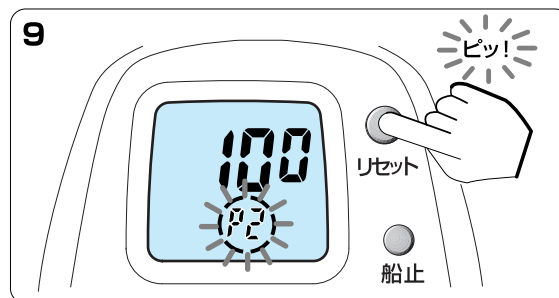
道糸入力方法「P2：下巻き入力」

9. **リセット** スイッチを2秒以上押してください。

上の数字が**100**になります。

10. テンションをかけて糸色に注意しながら残りの50mを巻いてください。

11. **リセット** スイッチを2秒以上押して表示が**0.0** mになり完了です。



- ・糸を全部巻き込まないようにしてください。手前でパワーレバーをMINの位置にし、ハンドルで巻いてください。巻き込みますとカウンター誤差の原因にもなります。
- ・PE3号未満の細糸は入力することができません。

※ **Err** になった場合は、再度入力又は、引出し入力 (P17,18) をしてください。

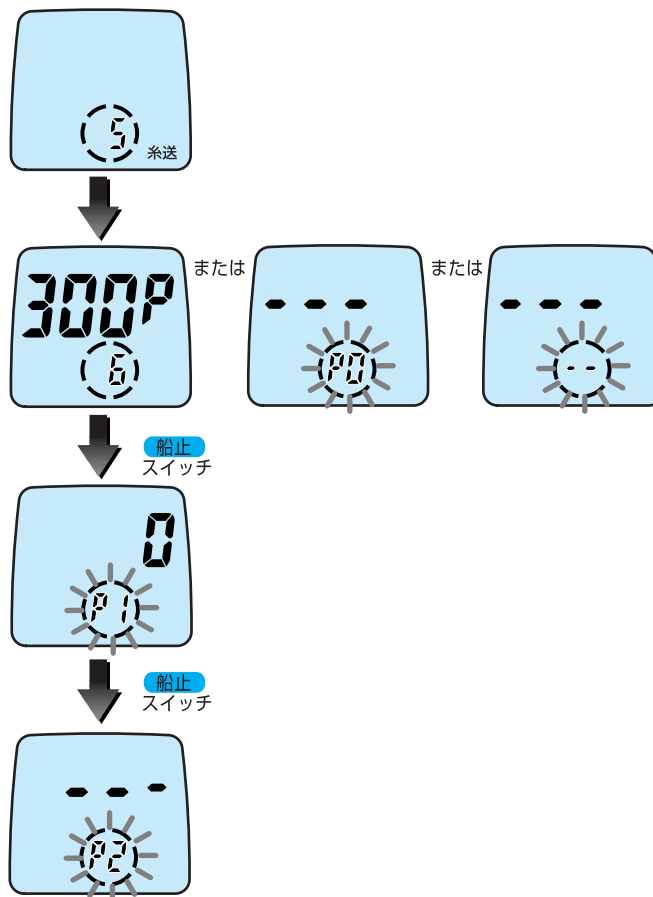
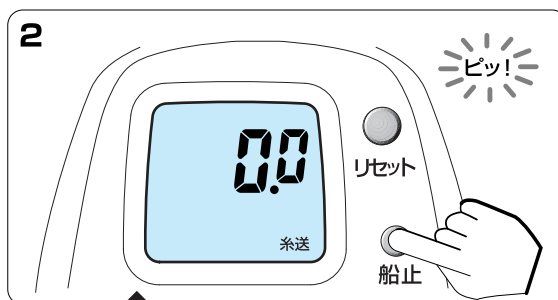
道糸入力方法「P3：引出し入力」

道糸を巻き終わった状態から再入力するための方法です。ただし長さのわかる道糸が100m以上必要です。

1.通電させてください。

2.表示が **0.0** のときに **船止** スイッチを10秒間押し続けてください。

※2秒でアラームが鳴り、5秒で糸送画面になりますが、そのまま押し続けると道糸設定画面になります。

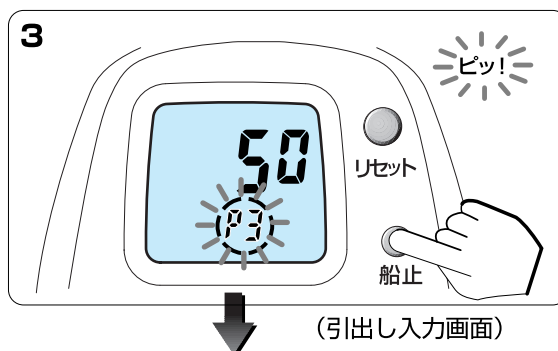


道糸入力方法「P3：引出し入力」

3. **船止** スイッチを3回押して、下巻き2入力画面にしてください。

P3 が点滅し、引出し入力画面になります。

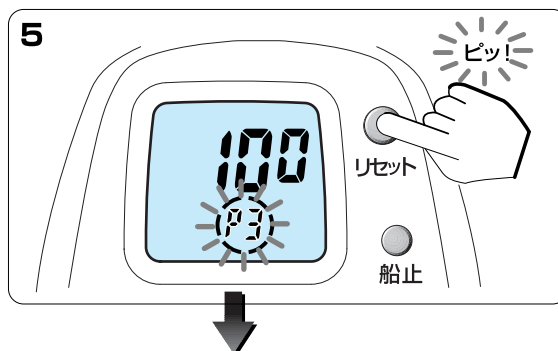
4. 糸のマークに注意しながら、50m引き出します。



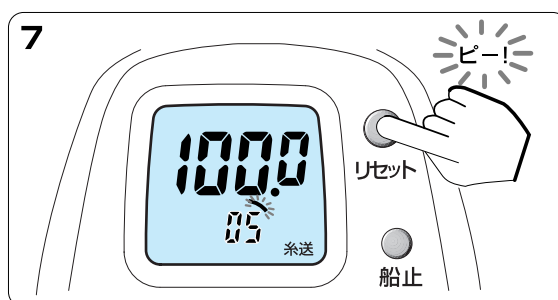
5. **リセット** スイッチを2秒以上押してください。

下の数字が **100** になります。

6. 糸のマークに注意しながらさらに50m引き出してください。



7. **リセット** スイッチを2秒以上押して表示が **100.0** mになります。



8. 引き出した糸を100m巻き取り完了です。



- ・糸を全部巻き込まないようにしてください。手前でパワーレバーをMINの位置にし、ハンドルで巻いてください。巻き込みますとカウンター誤差の原因にもなります。
- ・PE3号未満の細糸は入力することができません。

※ **Err** になった場合は、再度入力をしてください。
船止スイッチを押せば0.0に戻ります。